

## JANAシンポジウム「看護系学会が今、新型コロナウイルス感染症対策に向けて取り組むこと」

に対するご意見・ご感想（結果）

ご回答者22名

### WEBでの開催による問題

重大な問題があった	2 (9.1%)
やや問題があった	1 (4.5%)
問題はなかった	19 (86.4%)

### <生じていた問題>

・ZOOMアドレスを事務局に送っていただいていたが、事務局がテレワークになっており、出席者に転送されなかった。

### シンポジウムは期待していた内容だったか

まったくそう思う	12 (54.5%)
どちらかというと思う	9 (40.9%)
どちらかというと思わない	1 (4.5%)

### 自身の学会にとって参考になる内容だったか

大変参考になった	14 (63.6%)
多少参考になった	7 (31.8%)
あまり参考にならなかった	1 (4.5%)

### 参加してよかったと思うこと

- ・他者の鋭意努力がよくわかった、スピード感をもった対応されていて素晴らしいと思った
- ・多様な取り組みを知り、自身の所属学会でどのように取り組むべきか、比較検討できた点。
- ・COVID-19対応の最前線を支援する関連学会の重要な役割、信頼できる情報を迅速に発信し、アップデートを重ねる姿勢に深く感銘を受けました。JANAに所属しない学会や訪問看護ステーションの方にもご登壇いただき、大変貴重なお話をうかがいました。素晴らしい企画に感謝申し上げます。
- ・コロナの問題に学会がどうとらむのか方向性を示していただいた。また、実践科学である、看護学の臨床実践と学術の位置づけについて、考えることができた。
- ・他学会の取り組みが聞けたこと、訪問看護や訪問介護の現場の課題が理解できたこと
- ・情報を必要とする方々に必要な情報が届くための整備事項について考えることができました。
- ・各お立場から、スピード感をもって、かつエビデンスを大事にした、現場で働く看護職者向けのマニュアル作成プロセスを具体的に学びました。
- ・JANAの会員として、JANAの活動を具体的に知ることができた
- ・他の看護系学会の迅速な対応とその内容やプロセスを学べたこと
- ・新型コロナウイルスに関する知識が得られた
- ・在宅ケアの現場での訪問看護ステーションの取り組みが参考になった。
- ・日本の看護界が、新型コロナウイルス感染症発生に対して行なった活動が理解できたこと。
- ・看護系学会のCOVID-19への対応を共有できた
- ・ガイドラインを作成するうえで、多職種で取り組むことが必要だと感じた。
- ・学会員に有益な情報が得られたこと、危機対応に関わる今後の学会のあり方に示唆を得られたこと
- ・学会間での連携による取り組みや成果発信について知ることができたこと
- ・有志、若手の力を信じて、実践の場にある人のリアリティのある会員方が動けるかもと思えたこと

## 改善すべきと思う点

- ・もう少しゆっくりしゃべってほしい
- ・各学会からの参加人数が制限されていた点。今後もWEB開催であれば、人数制限が緩和されるといいなと思いました。
- ・発表時間がタイトで盛沢山だったため、かなり早口で発表が進んだ。ついていくのがやっとであった。あと5分でも、もう少し時間をとっていただけると良かったと思う。
- ・意見を述べる人の場合、手上げるのか、チャットに入力するのか、統一したほうが良いかもしれません。
- ・JANA主体のシンポジウムであることから、もう少し学術的な側面が浮上できたらと思った。
- ・参加者の所属する学会等の一覧があると、連携体制の取り方等の話ができただけではないかと思う
- ・学会としてスイッチを入れるための示唆にはなりますが、勇気もエネルギーもいただきました。やれることをやっという、本気で思っています。早速、理事会メンバーには報告し、一緒に参加してもらった理事ともできることを模索し始めています。企画いただいたJANA理事会に、心底感謝申し上げます。

## JANAホームページ「COVID-19対応」の活用状況

掲載情報を自学会の活動に活用した	5 (22.7%)
情報を閲覧したが活用はしていない	11 (50%)
サイトが開設されたのは知っているが見ていない	5 (22.7%)
知らない	1 (4.5%)

## COVID-19対応について、今後のJANAの取り組みについて期待することや提案

- ・各所がガイドラインに取り組まれているのでいろいろ出ているようですので、活用するうえではある程度の集約が必要かと思いました。
- ・シンポジウムで学会間の情報交換（今回のシンポジウムの意義であり、今後も必要時継続いただきたい）や信頼できる情報提供が話題になった。情報の一元化は困難と思うが、そのことについて何らかの方策や取り組みがあるのか知りたいと思いました。
- ・貴重な情報の整備と発信を誠にありがとうございます。
- ・看護系の多くの学会の動きが一度にわかるので、情報収集ができて便利だと思いました。。
- ・シンポジストの方も述べられていたように、情報過多を整理集約し、重要な情報が看護職に正確に伝わり役立つことでしょうか。
- ・今後とも引き続き、関連情報の発信をいただくと幸いです。
- ・エビデンスを集約し、知識づくりの促進。
- ・引き続き情報提供をしていただきたい。
- ・今回のような各学会の対応や取組に関する情報交換
- ・COVID-19対応に関連する看護学の学術推進に対する国への要望
- ・サイトをみる時間もつくれずいます。
- ・47学会の連絡業議会として、各学会の意見をきちんと集約してから、方向性を決めて頂きたい。社会への発信については、会員学会に確認してから発信するのを基本にして頂きたい。
- ・調査等を実施するにあたっては関連の学会と連携して実施すること

以上

◎ご回答くださった皆様、誠にありがとうございました。いただいたご意見は、今後の活動に活かして参ります。